学校番号	T0203

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　新数学Ａ(東京書籍)						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次までに学習した内容を確認し，それを基に数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めます。第１回授業時にファイルを配布します。授業プリントや問題プリントを整理し，各自復習等に用いましょう。授業プリントで学習した内容を問題プリントで確認し，知識の定着を図ります。問題プリントは実施ごとに回収し，評価の対象とします。毎回，しっかりと取り組みましょう。授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせずにしっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，数理的に考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察することや不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することを数理的に考察することができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　場合の数	集合 集合の要素の個数 和の法則と積の法則 順列 組合せ 事象と確率 確率の計算 排反事象の確率 余事象の確率 独立な試行の確率 反復試行の確率 条件つき確率 期待値	a:集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解している。具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 b:事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりすることができる。 c:事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・提出ノートの内容	・学習活動への取り組み ・課題 ・提出物の状況、ノート、プリント等

後期	第2章 図形の性質	直線と角 多角形の角 三角形の合同と相似 基本の作図 作図の利用 三角形と比 三角形の重心 三角形の外心･内心 角の二等分線と線分の比 円の接線 円周角の定理 円に内接する四角形 接線と弦のつくる角 方べきの定理 2つの円 直線や平面の位置関係 多面体	a:三角形に関する基本的な性質，円に関する基本的な性質，空間図形に関する基本的な性質について理解している。 b:図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 c:事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。	･定期考査 ･小テスト	･定期考査 ･提出ノートの内容	･学習活動への取り組み ･課題 ･提出物の状況、ノート、プリント等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度